

インベントリ第 部、第 部 作成の手引き

平成26年 3月
一般財団法人 日本船舶技術研究協会

目 次

1. インベントリ第 II 部、第 III 部作成の手引き（参考）作成の目的.....	3
2. インベントリとは.....	3
3. インベントリ第 II 部、第 III 部作成の手順.....	7
4. インベントリ第 II 部、第 III 部の作成時期.....	8
5. インベントリ第 II 部、第 III 部作成のための調査要領.....	8
5.1 調査内容.....	8
5.2 調査員.....	8
5.3 船主の立ち合い.....	8
5.4 使用工具類.....	8
6. インベントリ第 II 部の作成要領.....	9
6.1 参照する図面.....	9
6.2 タンクの種類.....	9
6.3 タンク残留物量(水位)計測要領.....	9
6.4 機器・配管内残留物量の算定方法.....	10
7. インベントリ第 III 部の作成要領.....	14
7.1 インベントリ第 III 部対象品.....	14
7.2 貯蔵物のリストアップ.....	14

〔別添〕 インベントリ第 II 部、第 III 部作成のためのチェックリスト(タンカー、貨物船用)

1. インベントリ第 II 部、第 III 部作成の手引き（参考）作成の目的

シップリサイクル条約では、船舶の解体が決定されると、最終検査前に船主責任で、同条約で規定されている現存船のインベントリ第 I 部（船舶の構造及び機器に含まれる有害物質）の最新化に加え、第 II 部（運航中に発生する廃棄物）および第 III 部（貯蔵物）を作成することが義務付けられています。

一方、平成 25 年 6 月 21 日に公布された「改正大気汚染防止法」によりアスベスト使用有無の調査報告義務が船舶にも課されると、国内解撤業者は事前にアスベスト調査を行わなければなりません。

インベントリの第 II 部、第 III 部では、アスベストの有無、所在だけでなく、労働安全衛生上や環境影響上の観点から、各タンクおよび機器に含まれる残油、その他塗料、薬品などの所在と量を記載する必要があります。これは油水類の海洋への漏出防止と船舶の解体作業に携わる作業者の安全衛生を考慮した措置です。

この「手引き」は、船主（または船主が依頼した外部専門家）が、インベントリの第 II 部および第 III 部を、的確かつ効率的に作成するための指針として作成したものです。

2. インベントリとは

シップリサイクル条約で、本船での携行が義務付けられている「インベントリ（以下、“IHM”と略します）」とは、「船舶に搭載されている有害物質の種類と所在、量」を記載するもので、下記の 3 部で構成されています。

（1）第 I 部

船舶の構造、機器に含まれる指定有害物資の種類と所在、量を記載するもので、第 I 部は、さらに次の 3 部に分かれています。

なお、条約が発効した後に契約、建造される「新造船（条約では“新船”と表現）は造船所、新船以外の就航中の船舶（“現存船”と表現）は船主責任で作成されることとなります。

【インベントリ第 I 部の構成】

- Part I ”Paint and coating systems containing materials in Table A and Table B of Appendix 1 of the guidelines”、船体に塗布された塗料の種類と量、所在を記載
- Part II “Equipment and machinery containing materials in Table A and Table B of Appendix 1 of the guidelines、機器に含まれる有害物質の種類と量、所在を記載
- Part III “Structure and Hull containing materials in Table A and Table B of Appendix 1 of the guidelines”、船体に含まれる有害物質の種類と量、所在を記載

（2）第 II 部（表 1 参照）

運航中に発生する廃棄物を記載するもので、具体的にはガイドラインの表 C（潜在的に有害な品目）に記載されている表 1 の品目を指します。作成責任は、船主です。

（3）第 III 部（表 2 及び表 3 参照）

インベントリ第 III 部は、船内各所に貯蔵されている「潜在的に有害な物質」で、液体、気体、固体があります。表 2 と表 3 に第 III 部記載対象物を示します。作成責任は、第 II 部同様、船主です。

表1 インベントリ第II部記載対象物（表C記載物品）

No.	特性		物 品
C-31	液体	油性	廃油（スラッジ） Waste oil (sludge)
C-32			ビルジおよび機器に備え付けられたアフタートリートメントシステムから発生する液体 Bilge and/or waste water generated by the after-treatment system fitted on machineries
C-33			油性液体貨物残留物 Oily liquid cargo tank residues
C-34			バラスト水 Ballast water
C-35			未処理水 Raw sewage
C-36			処理済汚水 Treated sewage
C-37			非油性液体貨物残留物 Non-oily liquid cargo residues
C-39			個体
C-40	医療廃棄物／感染性廃棄物 Medical waste/infectious waste		
C-41	焼却炉灰 Incinerator ash ²⁾		
C-42	廃物 Garbage ²⁾		
C-43	燃料タンク残留物 Fuel tank residues		
C-44	油性個体貨物残留物 Oily solid cargo tank residues		
C-45	油性／化学品を含むぼろきれ Oily or chemical contaminated rags		
C-53	乾タンク残留物 Dry tank residues		
C-54	貨物残留物 Cargo residues		

²⁾ Definition of garbage is identical to that in MARPOL Annex V. However, incinerator ash is classified separately because it may include hazardous substances or heavy metals.

廃棄物の定義は、MARPOL 条約付属書Vと同一ですが、焼却炉灰は、有害物質または重金属を含有している可能性があるため別項目に分類されています。

表2 インベントリ第III部記載対象物(表C記載物品)

No.	特性		物 品
C-1	液体	油性	灯油 Kerosene
C-2			軽油 White spirit
C-3			潤滑油 Lubricating oil
C-4			油圧用作動油 Hydraulic oil
C-5			焼付け防止剤 Anti-seize compounds
C-6			燃料添加物 Fuel additive
C-7			エンジン冷却水添加物 Engine coolant additives
C-8			不凍液 Antifreeze fluids
C-9			ボイラー水処理剤及び試薬 Boiler and feed water treatment and test re-agents
C-10			再生純水用薬品 De-ionizer regenerating chemicals
C-11			蒸発器薬品及び水垢除去酸 Evaporator dosing and descaling acids
C-12			塗料安定剤/錆安定剤 Paint stabilizers/rust stabilizers
C-13			溶剤/シンナー Solvents/thinners
C-14			塗料 Paints
C-15			化学冷却材 Chemical refrigerants
C-16			バッテリー電解液 Battery electrolyte
C-17			アルコール、工業用アルコール Alcohol, methylated spirits
C-18	気体	爆発性/ 引火性	アセチレン Acetylene
C-19			プロパン Propane
C-20			ブタン Butane
C-21			酸素 Oxygen
C-22		地球温暖 化ガス	二酸化炭素 CO2
C-23			パーフルオロカーボン Perfluorocarbons (PFCs)
C-24			メタン Methane
C-25			ハイドロフルオロカーボン Hydrofluorocarbon (HFCs)
C-27			一酸化二窒素 Nitrous oxide (N2O)
C-28			六フッ化硫黄 Sulfur hexafluoride (SF6)
C-29	液体	油性	燃料; 燃料油 Bunkers: fuel oil
C-30			グリース Grease
C-38	気体	爆発性/ 引火性	燃料ガス Fuel gas
C-46	個体		電池(鉛バッテリーを含む) Batteries (incl. lead acid batteries)
C-47			殺虫剤 Pesticides/insecticide sprays
C-48			消火剤 Extinguishers
C-49			化学クリーナー Chemical cleaner (incl. electrical equipment cleaner, carbon remover)
C-50			洗剤/漂白剤(液体の場合あり) Detergent/bleacher (could be a liquid)
C-51			各種医薬品 Miscellaneous medicines
C-52			防火服、個人用保護用具 Firefighting clothing and equipment
C-55			表Aまたは表Bに記載されている物質を含むスペアパーツ Spare parts which contain materials listed in Table A or Table B

表 3 通常の民生品（表 D 記載物品）

No.	特性	物 品
D-1	家庭用及び宿泊用 電化製品	コンピュータ、冷蔵庫、プリンタ、スキャナ、TV、ラジオ、ビデオカメラ、ビデオレコーダ、電話、乾電池、蛍光灯、電球、照明類 Computers, refrigerators, printers, scanners, television sets, radio sets, video cameras, video recorders, telephones, consumer batteries, fluorescent lamps, filament bulbs, lamps

3. インベントリ第II部、第III部作成の手順

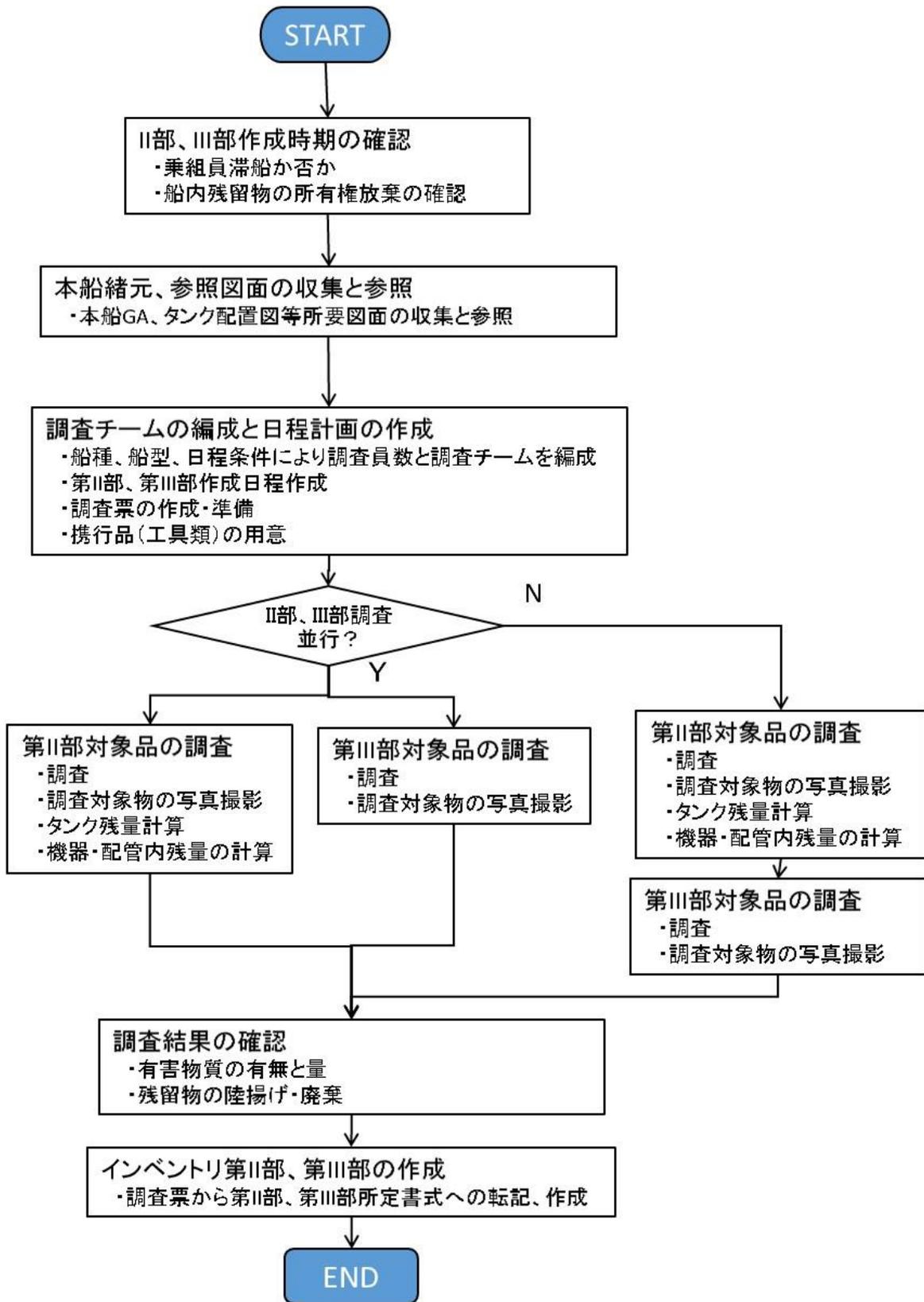


図1 インベントリ第II部、第III部作成の手順

4. インベントリ第 II 部、第 III 部の作成時期

船主は、第 I 部を更新するとともにインベントリ第 II 部および第 III 部を最終検査前に作成し、貨物残留物および燃料残油、船内に残る廃棄物量を最小化する義務を負います。

また船舶の解体施設は、事前に「解体計画書(Ship Recycle Plan (RFP))」を解体施設の属する所管官庁に通知する必要があります。このため、承認に要する期間(国の事情により異なりますが、おおむね 1 か月)以前に提出することになり、さらに提出書類の調査・作成に要する期間約 1 か月を加えると、II 部、III 部作成時期は、おおむね解体 2 か月前となります。

(注) 油送船等液体貨物船の場合は、第 II 部、第 III 部調査時期がガスフリー前の場合は、さらに期間を要することになります。また、準備すべき工器具や防護服も必要となるので、注意が必要です。

5. インベントリ第 II 部、第 III 部作成のための調査要領

5.1 調査内容

調査内容は、第 II 部、第 III 部で記載要求されている物品、品目ですが、6 章以降に詳述します。

5.2 調査員

第 II 部、第 III 部とも調査対象が多岐にわたりますので、1 チーム 2 名の編成で、船型により、下記編成とするのが望ましいでしょう。

船 型	調査員数	調査所要期間
1000GT 未満	最少 2 チーム、4 名	最短 2 日
1001～5,000GT	最少 3 チーム、6 名	最短 2 日
5,000GT 以上	最少 4 チーム、8 名	最短 3 日

5.3 船主の立ち合い

インベントリ第 II 部、第 III 部作成に先立つ乗船調査、および船内の倉庫等の共用施設や船室の備品・貯蔵品の移動、廃棄は、所有権の問題がありますので、乗組員または船主指名者の立会を求めるのが適切です。

5.4 使用工具類

第 II 部、第 III 部の調査に必要な工具類は、次のとおりです。

- ① 分銅付き測深テープ(水位計)：タンク等の残油量測定用(図 2 参照)

測深テープは、本船に備えられているはずですが、その有無を事前に確認し、なければ持ち込む必要があります。

- ② (デジタル) カメラ：調査状況記録用
③ (10m 以上) 巻尺：タンクと機器間の距離計測用
④ (ラチェット) スパナー：マンホール(MH)開放用
⑤ 照明器具：船内の照明がない暗所での調査を考慮して、調査員それぞれが懐中電灯またはヘルメット装着型の照明具を携行し、また投光器など複数の照明具の使用が必要です。



図 2 測深テープ

【以下、ガスフリー前調査の場合】

- ・ガス検知器：タンク内ガス・酸素濃度測定
- ・ガスマスク
- ・ガスフリー用携帯型ファン

6. インベントリ第 II 部の作成要領

インベントリ第 II 部は、表 1 に記載した「運航中に発生する廃棄物」で、主としてタンク内に残留する液体、機器に残留する気体、液体の残留物を記載します。

6.1 参照する図面

本船保管図面次第ですが、下記図面をもとにタンク位置と測深管位置を確認し、タンク水位（残留量）を計測します。

- ① 船体容積図：タンクの容量を記載
- ② タンク一覧表またはタンク配置図：二重底を含むタンク区画、位置、容積を示す。
- ③ 測深管位置図／空気抜き測深管系統図：検尺（測深テープ挿入）位置を示す
- ④ マンホール配置図
- ⑤ タンク水位計測記録表／掲示板：乗組員が各タンクの残量を定期的に測深、記録しているノート、一覧表または船内掲示板

（注）上記の参照図面は、船主・本船がすべて揃えているとは限りません。不足している場合は測深管の位置など探すのに時間を取られるので、乗組員（または船主監督）との共同作業とするのが適切です。

6.2 タンクの種類

船舶には、船種、船型の大小に係らず、船首から船尾に至るまで多くのタンクがあり、構造的に船体組込タンク、置タンクの 2 種、内容物で分ければ下記の種類があります。これら多くのタンクの容積、残留物量を測る調査には時間がかかります。

- ① 油タンク
 - ・燃料油タンク
 - ・潤滑油タンク
 - ・油圧機器用作動油タンク
 - ・廃油タンク
- ② 清水タンク
- ③ 残留物・汚物タンク：油水混じり及び汚物
 - ・スラッジタンク
 - ・ビルジタンク
 - ・汚物タンク
- ④ バラストタンク
 - ・バラストタンク
 - ・トリミングタンク：フェリー、RORO 船などでヒール調整に利用

6.3 タンク残留物量(水位)計測要領

タンクには、測深管が利用できるものと、測深管がなくマンホール（MH）付のものがあります。

① 測深管付きのタンクの調査手順

- 
- ・「タンク配置図」で測深管の位置を割り出し、
 - ・測深管に測深テープを挿入、着底したことを確認してテープを引き上げ、その変色位置の目盛を読み取り、
 - ・目盛（タンク水位）を記録、
 - ・タンク容積図を参照して、容量（残留量）を求める。
- 船内掲示板に乗組員の測深記録が記入されていれば、その写真を撮る。

② 未開放のマンホール（MH）付きタンクの調査手順

- ・硫化水素などの有害ガスが発生している可能性に備え、ガスマスクを装着
- ・ラチェットスパナを利用してMHナットを開放
- ・MH開放後、ガス検知器でガス・酸素濃度を測定、規定濃度を超過していればガスフリーの後、測深テープを下して水位計測。酸素の規定濃度が21%以下であれば、ポータブルファンで換気し、できれば一晩放置した後、再度ガス検知して規定濃度以下であることを確認して調査する。
- ・タンク容積図を参照してタンク残量を算出

(注1) 本項は、未開放の小型タンクを対象としたもので、油送船のような大型の貨油タンクを対象としたものではありません。貨油タンクのような大型タンクは、専門業者によるガスフリーを行った後に第II部の調査を行うのが鉄則です。

(注2) タンク残量調査時は、下記の条件次第で容量に大きな差がでますので、注意が必要です。

- a. 船体がヒールしていない(Even keel 状態である)こと：船首または船尾へビー（傾斜）、また左右舷いずれかに傾斜していると測深テープの位置によっては計測水位が不正確となり、タンク残量に誤差が生じます。トリム状態が悪い中で、調査せざるを得ない場合は、ヒール状態に応じて、容量を調整する必要があります。
- b. 第II部調査時、外気温が低く、本船の機器類すべてが長時間停止した状態だと、タンク内の油類がかたまっていて、測深テープがタンク底まで達しない場合がでてきます。この場合、タンク深さと繰り出したテープ長との差で、タンク残量を推定することになります。

6.4 機器・配管内残留物量の算定方法

(1) 主な対象機器・配管

調査の対象となる主な機器・配管は、

- ① 作動油対象機器
：揚錨機／係船機、操舵機、CPP（可変ピッチプロペラ）、ポートダビットなどの油圧ユニット
- ② 潤滑油対象機器：主機、補機、減速機、潤滑油清浄機
- ③ 燃料油対象機器：燃料油清浄機
- ④ 熱媒油対象機器：熱媒油ボイラー、温水器（カロリファイア）
- ⑤ 貨油タンク内加熱管

(2) 調査要領

- ① 当該機器とタンク間の配管長、管径を計測、記録する
- ② 配管内残量計算：加熱管（貨油タンク内のヒーティングコイル）は管径、総延長を計測
- ③ 機器内残量を推定
：機器の種類、大きさにより大きく変わるので、当該機器の仕様書、あるいは取扱（操作）説明書を参照して、張込み量を確認します。これらの図書がなければ、メーカー名、型式をもとにメーカーに照会します。

参考までに内航タンカーの一般配置図（タンク位置参照）と機関室配置図を図1に、調査結果の記載例を表4に示します。

(注) 一般配置図と機関室配置図、第II部、第III部の記載例は同一船ではありません。

GENERAL ARRANGEMENT - Sample Ship -

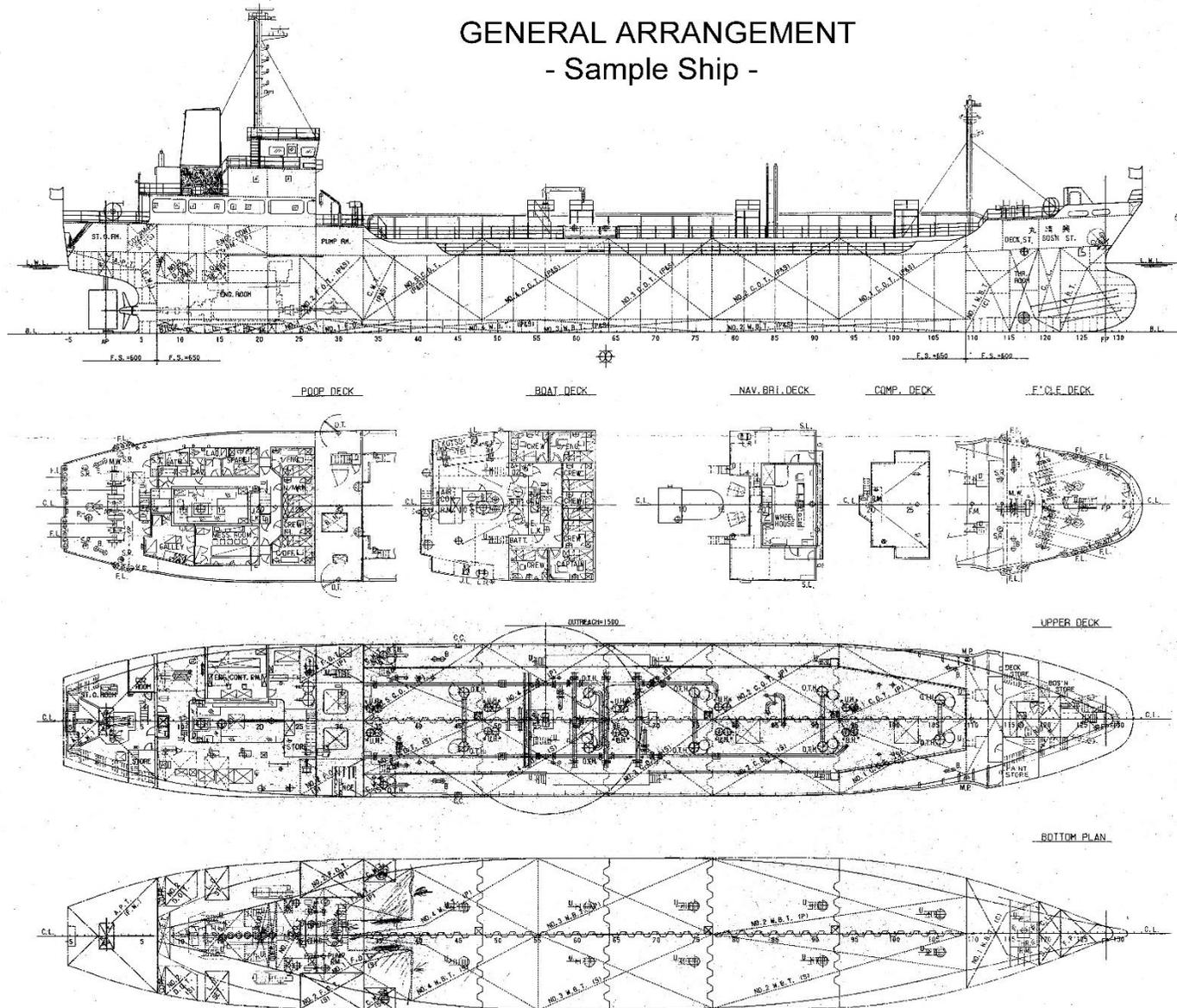


図1(1) サンプルシップ一般配置図

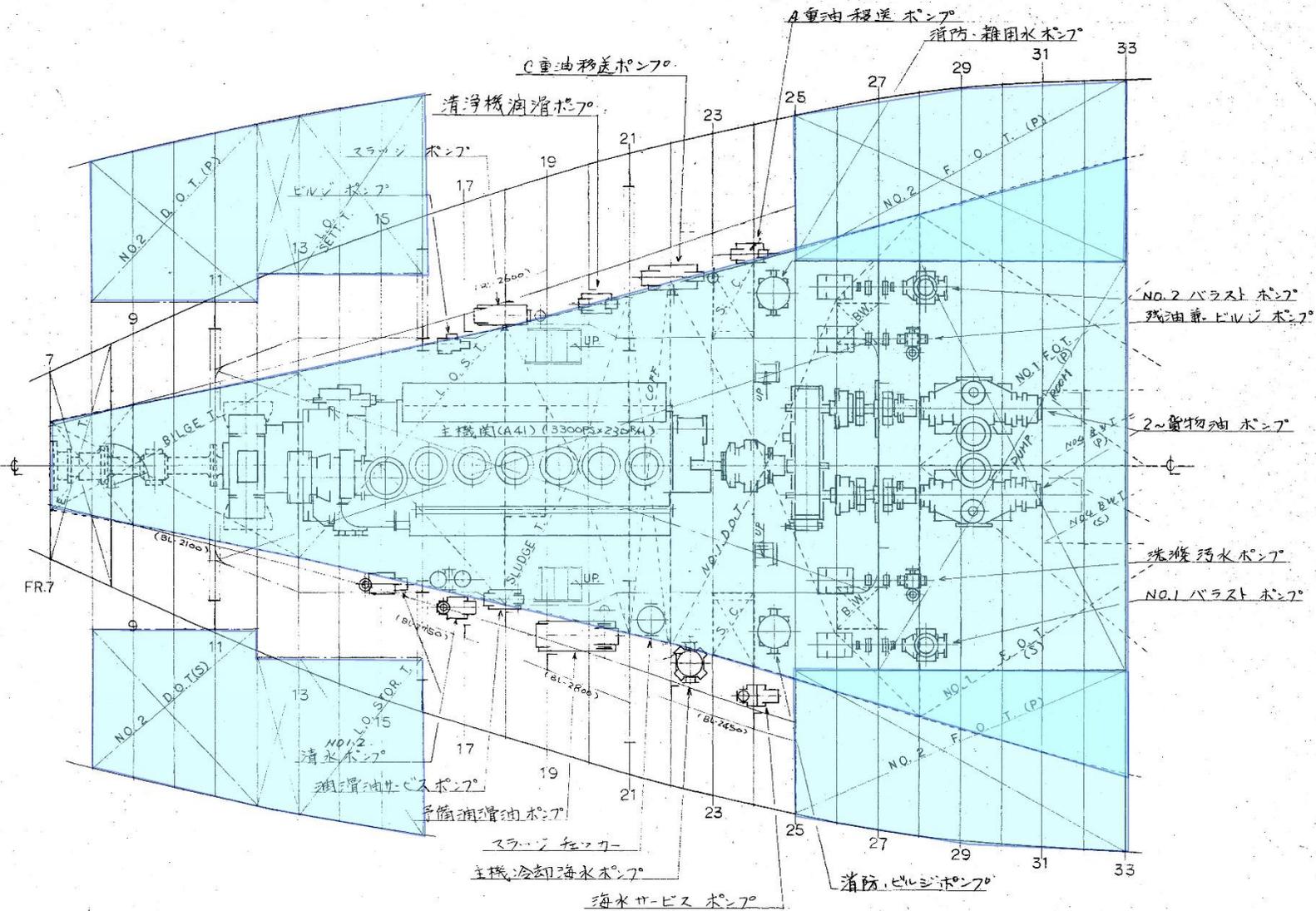


図1(2) サンプルシップ機関室タンク配置図

表4 インベントリ第II部記載例

Part II OPERATIONALLY GENERATED WASTE					
No.	Location ¹⁾	Name of item (classification in Appendix 1) and detail (if any) of the item	Approx. quantity		Remarks
1	F.P.T	Ballast water(C-34)	0	m ³	
2	No.1 W. B. T.(C)	Ballast water(C-34)	0	m ³	
3	F.W.T.(C)	Water	23	m ³	
4	No.2 W.B.T.(P)	Ballast water(C-34)	0	m ³	
5	No.2 W.B.T.(S)	Ballast water(C-34)	0	m ³	
6	No. 1 C.O.T.(P)	Chemical products	0	m ³	
7	No. 1 C.O.T.(S)	Chemical products	0	m ³	
8	No. 2 C.O.T.(P)	Chemical products	0	m ³	
9	No. 2 C.O.T.(S)	Chemical products	0	m ³	
10	No. 3 C.O.T.(P)	Chemical products	0	m ³	
11	No. 3 C.O.T.(S)	Chemical products	0	m ³	
12	No.3 W.B.T.(P)	Ballast water(C-34)	0	m ³	
13	No.3 W.B.T.(S)	Ballast water(C-34)	0	m ³	
14	No.4 W.B.T.(P)	Ballast water(C-34)	54	m ³	
15	No.4 W.B.T.(S)	Ballast water(C-34)	54	m ³	
16	No.5 W.B.T.(P)	Ballast water(C-34)	0	m ³	
17	No.5 W.B.T.(S)	Ballast water(C-34)	0	m ³	
18	Engine Room Bilge	Bilge(C-32)	0	m ³	
19	A.P.T.	Ballast water(C-34)	0.43	m ³	300 cm
20	Galley	Garbage(C-42)/Food wastes	2	kg	

7. インベントリ第 III 部の作成要領

7.1 インベントリ第 III 部対象品

インベントリ第 III 部は、船内に貯蔵された「潜在的に有害な品目」で、灯油、潤滑油などの液体とプロパン等の引火性気体、そしてオゾン層破壊物質 (CFC、HCFC)、洗剤／医薬品、およびガイドライン 表 D に記載された「通常の民生品」を記載します。

表 2、表 3 に示すように第 III 部対象品は多岐にわたりますが、基本的には、液体・気体は瓶や缶入りで、個々に移動可能なため、本船解体前に陸揚げ撤去するのが適切です。

要は、船主責任で撤去するか、解体施設で撤去されるか時期の問題ですが、撤去費用見積もり上、指定された物品の数量を把握しておく必要があります。

7.2 貯蔵物のリストアップ

本船には、本船備品と個人所有物が混在していますので、注意が必要です。

- ・船室の個人所有物は、乗組員退去の前に、個人責任で撤去(原則)。
- ・何らかの要因で個人責任の撤去が難しければ、船主責任で撤去(所有者は、所有権放棄とみなす)。
- ・専門家による第 II 部、第 III 部調査時に、本船備品、個人所有物が残っている場合も、船主による所有権放棄とみなす。

貯蔵物の調査票の例を表 5 に示します。

表5 物品調査票の例

部屋別D表(薬品、家庭用及び宿泊用電化製品)調査票						
場所:					調査日	
				該当する場合: ✓ 記入	調査者	
No.	品名	メーカー名	型式	数量	陸揚廃棄	備考
1	パソコン					
2	投影機					
3	プリンタ					
4	スキャナ					
5	FAX					
6	トランシーバー					
7	電話器					
8	TV					
9	Video-Recorder(VHS、DVD)					
10	CD Player					
11	洗濯機					
12	乾燥機					
13	炊飯器					
14	湯沸しポット					
15	壁時計					
16	冷蔵庫					
17	乾電池(NiCd他)(U1)					
	乾電池(NiCd他)(U2)					
	乾電池(NiCd他)(U3)					
	乾電池(NiCd他)(U4)					
18	懐中電灯					
19	蛍光灯					
20	電球					
21	予備蛍光灯					
22	予備電球					
23	消火器					
24	薬品類	胃腸薬				
		風邪・解熱・鎮痛剤				
		消毒液類				
		目薬				
		傷薬(軟膏等)				
		その他				
25	防錆/潤滑剤					
26	接着剤					
27	ガスボンベ(LPG等)					
28	台所用洗剤/漂白剤					
29	入浴用洗剤(シャンプー含む)					
30	N2ボンベ					
31	アセチレンボンベ					
32	酸素ボンベ					
33	炭酸ガスボンベ					
34						
35						
36						
37						
38						

リストアップで注意すべき事項を下記します。

① 空調機、冷蔵庫、冷水飲料器に封入されている冷媒の残量の確認

本船の海外売船前に第 II 部、第 III 部を作成する場合は、これらの残量を推定して記載する必要があります。

ただし、国内で解体する場合は、国内法の規定で冷媒（オゾン層破壊物質）は、認定された専門業者による抜き取り、破壊が義務付けられていますので、第 III 部ではこれらの機器の冷媒封入量を記載します。

② 冷媒、プロパン、アセチレン等の気体ボンベ

種類別にボンベの容量と本数、所在位置を記載します。

インベントリ第 III 部の記載例を表 6～8 に示します。

表6 インベントリ第III部記載例(1): STORES(1)貯蔵物

Part III STORES									
III-1 Stores									
No	Location	Name of item (classification in appendix 1)	Unit quantity		Figure		Approx. quantity		Remarks
1	F.O.T.(P)	Fuel Oil(C-29)	--	Liter	--	can	6.93	m3	60 cm (Sounding results)
2	F.O.T.(S)	Fuel Oil(C-29)	--	Liter	--	can	7.84	m3	65 cm (Sounding results)
3	L.O. Slop T.(P)	Lubricating Oil(C-3)	--	Liter	--	can	0.00	m3	
4	L.O. Slop T.(S)	Lubricating Oil(C-3)	--	Liter	--	can	0.00	m3	
5	L.O. Settling T.(P)	Lubricating Oil(C-3)	--	Liter	--	can	0.00	m3	
6	L.O. Storage T.(S)	Lubricating Oil(C-3)	--	Liter	--	can	0.56	m3	32 cm (Sounding results)
7	L.O. Sludge T.	Waste Oil(Sludge)(C-31)	--	Liter	--	can	0.00	m3	
8	L.O. Sump T.	Lubricating Oil(C-3)	--	Liter	--	can	3.11	m3	74 cm (Sounding results)
9	Pump Room/Fire Fighting Air Foam T.	Water	--	Liter	--	can	1,900	Liter	
10	2nd Deck/Cleaning Oil T.(S)	Waste Oil(Sludge)(C-31)	--	Liter	--	can	50	Liter	
11	2nd Deck/F.O. Service T.	Fuel Oil(C-29)	--	Liter	--	can	560	Liter	
12	M.E. L.O. Bottom T.	Lubricating Oil(C-3)	--	Liter	--	can	300	Liter	
13	Steering Engine Room/Tank for Emergency Fire Pump	Fuel Oil(C-29)	--	Liter	--	can	8	Liter	
14	Lower Floor	Extinguishers(C-48)	9	Liter	2	pcs	18.00	Liter	Yamato SF-10P(9L)
15	2nd Deck	Spare Fluorescent lamp(D-1)	--	pcs	15	pcs	15	pcs	FL10D on Main Switch B.
16			--	pcs	12	pcs	12	pcs	FL20SD on Main Switch B)
17		Spare Bulb(D-1)	--	pcs	23	pcs	23	pcs	KG110V60W on Main Switch B.
18			--	pcs	30	pcs	30	pcs	KN24V40W on Main Switch B.)
19		Detergent(Cleaning agents)(C-50)		Liter	1	pcs	0	pcs	
20		Adhesive	170	g	1	can	170	g	Synthetic rubber adhesive
21			330	g	3	can	990	g	Molybdenum sulfide
22			1	Kg	1	can	1	Kg	Devcon
23			30	g	5	can	150	g	Epoxy curing agent
24			500	g	5	can	2,500	g	DURMETAL
25		Detergent(Cleaning agents)(C-50)	420	ml	3	can	1,260	ml	Taseto/Color check
26			1	Kg	1	can	1	Kg	Ecosurf
27			300	g	2	can	600	g	Pikal
28		Fuel additive(C-6)	20	Kg	1	can	20	Kg	Kuriclean
29		Lubricant(C-3)	188	ml	1	can	188	ml	
30			100	ml	1	can	100	ml	

表6

票6 インベントリ第 III 部記載例(1) : STORES(2) 貯蔵物

No	Location	Name of item (classification in appendix 1)	Unit quantity	Figure	Approx. quantity	Remarks
31	2nd Deck	Lubricant(C-3)	300 g	2 can	600 g	Kuriclean
32		Fuel Gas/Propane(C-19)	200 g	3 can	600 g	LPG
33	Upper Deck/Deck store	Adhesive	450 g	2 can	900 g	
34		Detergent(Cleaning agents)(C-50)	16 Liter	2 can	32 Liter	Neos
35		Solvents/thinners(C-13)	16 Liter	2 can	32 Liter	
36		Solvents/thinners(C-13)	18 Liter	10 can	180 Liter	Polytank
37		Paints(C-14)	18 Kg	14 can	252 Kg	
38	Poop Deck/Bath Room	Detergent/bleacher(C-50)	250 ml	1 can	250 Liter	
39			600 ml	6 pcs	3,600 ml	Shampoo
40			3 Liter	1 can	3 Liter	Kincho/Sunpole
41			200 ml	1 can	200 ml	Kao/Magiclean
42			600 ml	1 can	600 ml	Pureox
43			200 ml	2 can	400	Deodorant
44			85 g	5 pcs	425 g	Hand soap
45	Poop Deck/Galley	Detergent/bleacher(C-50)	4.5 Liter	2 can	9 Liter	Kao/Family
46			1 Liter	1 can	1 Liter	Kao/Magiclean
47			300 ml	1 can	300 ml	Kao/Magiclean spray
48			100 ml	1 can	100 ml	Kao/Family(Pump bottle)
49			200 ml	1 can	200 ml	Lion/Kitchen bleach
50			100 g	1 can	100 g	Kao/Homing
51	Poop Deck/Passage	Detergent/bleacher(C-50)	1 Kg	3 can	3 Kg	Kao/Attack
52			2 Kg	1 can	2 Kg	Kao/Highter
53			1 Kg	1 can	1 Kg	Kao/Wide Highter
54			900 g	9 can	8,100 g	P&G/Bold
55			200 cc	1 can	200 cc	P&G/Lenor
56	Poop Deck/Mess room	Detergent/bleacher(C-50)/Lubricant	70 ml	2 can	140 Liter	Kure/5-56
57		Alcohol(C-17)	400 cc	1 can	400 cc	For disinfection
58		Battery(D-1)	--	30 pcs	30 pcs	Dry cell (U1)
59			--	3 pcs	3 pcs	Dry cell (U2)
60			--	3 pcs	3 pcs	Dry cell (U3)
61		Miscellaneous medicines(C-51)	10 mg	210 can	2,100 mg	Cold medicines
62			5 mg	40 can	200 mg	Cold medicines
63			5 mg	150 can	750 mg	Cold medicines

表6 インベントリ第III部記載例(1):STORES(3) 貯蔵物

No	Location	Name of item (classification in appendix 1)	Unit quantity	Figure	Approx. quantity	Remarks
64	Poop Deck/Mess room	Miscellaneous medicines(C-51)	5 mg	90 can	450 mg	Cold medicines
65			5 mg	550 can	2,750 mg	Gastrointestinal medicines
66			50 ml	1 can	50 ml	Antiseptic solution/Tincture of iodine
67			50 g	1 can	50 g	Antiseptic solution/Oxide oil
68	Navi. Bri. Deck/Wheel House	Detergent/bleacher(C-50)/Lubricant	70 ml	2 can	140 Liter	Kure/5-56
69		Miscellaneous medicines(C-51)	13 ml	1 can	13 ml	Eye drops
70			6 g	1 can	6 g	Ointment
71			25 g	1 can	25 g	Ointment
72			15 g	1 can	15 g	Ointment
73			30 g	1 can	30 g	Ointment
74			10 g	40 tablet	400 g	Cold medicines
75			10 g	20 tablet	200 g	Painkiller
76			50 g	1 pcs	50 g	For disinfection/Oxide oil
77			75 ml	1 can	75 ml	For disinfection
78			10 g	180 tablet	1,800 g	Gastrointestinal medicines
79			10 g	210 tablet	2,100 g	Gastrointestinal medicines

(注1)本船が貯蔵・保管している表C指定物質は、物質の種類、提供するメーカーにより容器サイズ、容量がさまざま、かつ単位も多様なため、容器ラベルの表示を確認して記入します。

(注2) シップリサイクル条約は、本来、海洋環境汚染防止と解体作業者の労働安全衛生の確保が主眼になっています。したが、ガイドライン上では、貯蔵物の量は見出しにありますように「概算 Approx. quantity」となっていますので、過度に量の正確性を追求する必要はありません。ただし、表C、Dに記載されている物品のすべてにわたり、その有無が網羅されていることが必要です。

表7 インベントリ第III部記載例(1):Liquids & Gas sealed in ships machinery and equipment 機器に封入された液体、気体

III-2 Liquids sealed in ship's machinery and equipment					
No	Type of liquids (classification in appendix 1)	Name of machinery or equipment	Location	Approx. quantity	Remarks
1	Fuel Oil(C-29)	F.O. Purifier	Engine Room	0 Liter	
2		M/E. F.O. (32A Pipes, Pump, Strainer, Valves, etc)	Engine Room	35 Liter	
3		G/E. F.O. (25A Pipes, Strainer, etc)	Engine Room	30 Liter	
4		Boiler(25A Pipes, Strainer, etc)	Engine Room	18 Liter	
5	Hydraulic Oil(C-4)	Windlass(Pump, Motor, Tank & Pipe lines)	Steering Gear Room	430 Liter	
6		Mooring Winch(Pump, Motor, Tank & Pipe lines)	Steering Gear Room	400 Liter	
7		Steering Gear(Pump, Motor, Tank & Pipe lines)	Steering Gear Room	84 Liter	
8	Lubricating Oil(C-3)	M/E L.O. System(Pipes, Cooler & Pump)	Engine Room	154 Liter	
9		M/E Reversing gear	Engine Room	60 Liter	
10		M/E Speedup gear	Engine Room	100 Liter	
11		No.1&No.2 Gen. Engine	Engine Room	200 Liter	100 L * 2 sets
12		L.O. Purifier	Engine Room	0 Liter	Outage
13	Thermal Oil	Cargo Heating System	Pump Room & Cargo Tank	1,899 Liter	
III-3 Gas sealed in ship's machinery and equipment					
No	Type of gases (classification in appendix 1)	Name of machinery or equipment	Location	Approx. quantity	Remarks
1	Halon	Halon Extinguishing System	Poop Deck/Halon RM	109.0 Kg	
2	HCFC	Air Conditioning System	Poop Deck/Air Cond. RM	3.5 Kg	

【機器・配管内残油量の概算式】

- ① 機器内：機器種類・型式により可変のため、機器仕様書、取扱（操作）説明書等を参照して記入
- ② 配管内：配管長（タンクから機器までの長さ）×管断面積=L*(3.14*R²)（漏えいなくフルに充填されていると仮定）

表8 インベントリ第 III 部記載例(1):Regular consumable goods potentially containing Hazardous materials(1)
潜在的に有害物質を有する通常の民生品

III-4 Regular consumable goods potentially containing Hazardous Materials				
No	Location ¹⁾	Name of item	Quantity	Remarks
1	Lower Floor	Fluorescent lamp	13	
2	2nd deck	Bulb	5	
3		Fluorescent lamp	18	
4		Flash light	1	
5	Upper Deck/Bosun store	Fluorescent lamp	2	
6	Upper Deck/Deck store	Bulb	2	
7	Upper Deck/Dry Chemical Room	Bulb	1	
8	Upper Deck/Pump Room	Bulb	5	
9	Upper Deck/Steering Engine Room	Bulb	1	
10		Fluorescent lamp	2	
11		Flash light	2	
12	Poop Deck/Mess Room	Bulb	9	
13		Drier	1	SANYO CD-S451(W)
14		Electric kettle	1	Zojirushi/CD-XA
15		Flash light	4	
16		Fluorescent lamp	12	
17		Refrigerator	3	Sharp SJ23TH X 2 , SJ23-TK X 1
18		Telephone(for Extension)	1	
19		Telephone(for Outside line)	1	
20		TV	1	Sharp LC-26E7
21		Washing Machine	1	Panasonic NA-F45ME7
22	Poop Deck/Air Cond. Room	Bulb	2	
23	Poop Deck/Bath Room	Bulb	3	
24	Poop Deck/Accommodation	Fluorescent lamp	2	
25		Telephone	2	
26		TV	2	Orion/LD16V-SL
27		Video recorder	2	Gaiam/DVP-C910
28	Boat Deck/Accommodation	Fluorescent lamp	9	
29		Telephone	4	
30		TV	4	Orion/LD16V-SL
31		Video recorder	4	Gaiam/DVP-C910

表8 インベントリ第 III 部記載例(1):Regular consumable goods potentially Hazardous materials(2)
潜在的に有害物質を有する通常の民生品

No	Location ¹⁾	Name of item	Quantity	Remarks
32	Navi. Bri. Deck	Bulb	7	
33		CD player	1	Toshiba/TY-CDL5
34		Electric kettle	1	Zojirushi/CD-XA
35		Facsimile	1	
36		Flash light	1	
37		Fluorescent lamp	8	
38		Telephohon	1	
39		Transceiver	2	
40	Compass Deck	Bulb	4	

(注)この III-4 リストは、表 D で指定された機器を所在場所（甲板、区画／部屋）ごとに記載するため、在庫量を調査するには、別途、場所ごとの表 5 の調査票を利用して数量を把握し、この表 8 に転記するのが効率的と思われます。